

令和2年度 第1回 生駒市生活支援体制整備協議体
会議録

| | |
|-------------|--|
| 開催日時 | 令和2年6月24日（水） 午後3時40分～午後4時00分 |
| 開催場所 | 生駒メディカルセンター研修室 |
| 参加者 (委員) | 澤井委員、高取委員、萩原委員、中尾委員、平尾委員、藤田委員、日野委員、辻村委員、井上委員、林委員、竹田委員、稲葉委員、和田委員、北原委員、川端委員、古東委員、原委員、吉田委員、世古委員、岩井委員、大窪委員、辻本委員 |
| 事務局 | 近藤福祉健康部長、後藤地域包括ケア推進課課長、伊藤地域包括ケア推進課主幹、澤辺地域包括ケア推進課係長、田村地域包括ケア推進課係長、桐谷地域包括ケア推進課係員 |
| 傍聴 | なし |
| 案件 | (1) 生活支援体制整備事業及び協議体について (2) 住民主体の訪問型サービスの取組について（報告） (3) その他 |
| 資料 | 資料 生活支援体制整備について |
| 議 事 の 経 過 | |
| 発言者 | 発言内容 |
| 事務局 | 1 開会 2 案件 案件(1) 生活支援体制整備事業及び協議体について 案件(2) 住民主体の訪問型サービスの取組について（報告） (資料に基づき説明) |
| 座長 | 地域活動は接触が伴うため制約があると思うが、対応方法等検討していることはあるか。 |
| 事務局 | 非常事態宣言の解除に伴い、徐々に地域活動は再開している。第1層生活支援コーディネーター、地域包括支援センターと共に、通いの場を再開する時の検討事項をチェックリスト形式で作成し、地域の方に情報提供している。 また、各地域包括支援センターが圏域内の通いの場を訪問し、同チェックリストをもとに感染予防の注意点などを周知している。 |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>6月からいきいき百歳体操を再開した。従来は、体操する習慣がない人にいきいき百歳体操に参加してもらえるよう声をかけていた。そういった体操の習慣がない方々は、百歳体操が中止になっていた3ヶ月の間、自主的に体操をすることはなかったようである。</p> <p>地域の活動を再開するにあたっては、以前同様体操に参加してもらうように声をかけることから始めているため時間がかかり大変である。体操と併せてサロンの要素を組み合わせ実施していたところが多く、体操だけでは参加を見合わせる方もいる。</p> <p>通いの場の再開にあたっては、イスの消毒作業等スタッフ側の負担も増加している。参加者の中には、案内しても飲料を持参しない人やマスクをせずに参加する人がいる。サロンでお茶が出るから、といった理由で誘っていた人もいる。</p> <p>感染予防など市から資料が届くが、種類が多く全てを読むことができない。資料を読むだけでも体力が必要である。スタッフが困っている印象である。</p> |
| 事務局 | <p>コロナに関する対応について、周知できていない部分があると感じている。庁内各課で密に連携し再度周知を徹底したい。</p> |
| 委員 | <p>運営スタッフと参加者双方に負担がないような方法を皆で考える必要がある。</p> <p>サロンを再開するため非接触の体温計を探しているが、なかなか手に入らない。行政で手配することを検討してほしい。</p> |
| 事務局 | <p>非接触の体温計は購入を検討しているが、品薄で商品の手配が難しい状況である。引き続き検討を進めたい。</p> |
| 座長 | <p>新型コロナウイルスについては、完全な収束は難しいと感じている。新しい生活様式に対応した方法を検討していく必要がある。今後も工夫を続けていく必要がある。</p> <p>3 閉会</p> |